



平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年4月28日

上場会社名 日本カーボン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5302 URL <http://www.carbon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 尚史
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務管理部長 (氏名) 今井 浩二 TEL 03 (6862) 6110
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	5,727	2.5	△61	—	△50	—	△112	—
28年12月期第1四半期	5,586	△13.3	160	△63.4	131	△65.1	159	△21.8

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 △4百万円 (—%) 28年12月期第1四半期 △467百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	△1.01	—
28年12月期第1四半期	1.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第1四半期	52,878	30,117	46.9	223.56
28年12月期	53,895	30,810	47.2	229.37

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 24,793百万円 28年12月期 25,438百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期（予想）	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	11,200	0.1	200	9.1	100	△25.5	0	—	0.00
通期	26,000	13.5	1,000	—	1,100	—	1,000	—	9.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規一社、除外一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期1Q	118,325,045株	28年12月期	118,325,045株
② 期末自己株式数	29年12月期1Q	7,421,884株	28年12月期	7,419,440株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期1Q	110,904,414株	28年12月期1Q	110,908,933株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 追加情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、IT産業の復調による輸出増や鉱工業の生産増を中心として、緩やかな回復傾向となりました。雇用情勢や所得情勢は堅調を維持しておりますが、物価上昇の懸念等もあり個人消費の伸びは緩やかなものに留まりました。

また、世界経済は、米国では内外需の回復を背景に、設備投資は持ち直し、雇用情勢も良好に推移しました。しかし、米国新政権下での経済政策の動向等、不透明な要素も大きく、今後の景気への影響が懸念されます。欧州でも、景気は回復傾向となり、アジアでは、中国経済の減速は下げ止まりを見せたものの低調に推移しました。

このような状況の中、当社グループを取り巻く事業環境は、昨年から引き続き厳しい状況で推移しました。損益改善に向け、新体制の下、セグメント別事業の最適化、品質向上と原価低減、新技術・次世代製品の開発強化等にグループ一丸となって取り組んでまいりました。

しかし、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高57億2千7百万円（前年同四半期比2.5%増）、営業損失6千1百万円（前年同四半期は営業利益1億6千万円）、経常損失5千万円（前年同四半期は経常利益1億3千1百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億1千2百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億5千9百万円）と増収ながら減益となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

(炭素製品関連)

電極部門は、国内については電炉業界の生産量は緩やかな増加傾向にあるものの、需要は未だ力強いとは言い難く、海外についても近年下落傾向にあった価格が、前期はさらに厳しいものとなり、当期にも引き続き影響を及ぼしました。生産調整や低価格品の販売抑制により、この苦境に対処してまいりましたが、回復には今しばらくの時間を要する見込みです。化学構造材料用不浸透黒鉛レスボンにつきましては、堅調に推移しました。

ファインカーボン部門は、炭素繊維および特殊炭素材料については、半導体市場の回復もあり、売上が伸長しました。また、リチウムイオン電池負極材は、車載向けを中心に堅調に推移しました。

この結果、売上高は52億7千9百万円（前年同四半期比3.9%増）と増収ながら、セグメント損失（営業損失）は1億6千4百万円（前年同四半期は営業利益7千3百万円）と損失計上となりました。

(炭化けい素製品関連)

炭化けい素繊維の販売は計画通り推移しており、第2工場の本稼働に向けた試験操業も順調に進展しております。

売上高は2億1千7百万円（前年同四半期比25.3%減）となり、セグメント損失（営業損失）は7百万円（前年同四半期は営業損失4百万円）となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、産業用機械の製造・販売が増加しました。

その結果、売上高は2億2千9百万円（前年同四半期比7.0%増）、営業利益は5千3百万円（前年同四半期比53.1%増）と増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間における総資産は、528億7千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億1千7百万円の減少となりました。流動資産は、現金及び預金の増加5億7百万円がありました。流動資産のその他で表示している未収入金の減少6億2千万円、棚卸資産の減少6億1千7百万円及び売上債権の減少1億9千1百万円により、294億3千4百万円と前連結会計年度末に比べ9億6千6百万円の減少となりました。固定資産は、長期繰延税金資産の増加7千万円がありましたが、有形固定資産の減価償却の進捗等による減少1億2千8百万円等があり、234億4千3百万円と前連結会計年度末に比べ5千1百万円の減少となりました。

負債は、227億6千万円となり、前連結会計年度末に比べ3億2千4百万円の減少となりました。流動負債は、流動負債のその他で表示している短期未払金の増加2億6千2百万円がありましたが、設備関係の債務の減少5億3千5百万円及び未払法人税等の減少8千2百万円により、127億8千3百万円と前連結会計年度末に比べ4億5百万円の減少となりました。固定負債は、長期繰延税金負債の増加1億1千9百万円等により、前連結会計年度末に比べ8千1百万円増加し、99億7千6百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失1億1千2百万円および配当金の支払5億5千4百万円等により、301億1千7百万円と前連結会計年度末に比べ6億9千3百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しております。そのため、現時点において平成29年2月10日に発表いたしました平成29年12月期の第2四半期連結累計期間および通期の業績予想は修正しておりません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,553	11,060
受取手形及び売掛金	6,991	6,800
商品及び製品	5,852	5,407
仕掛品	3,761	3,604
原材料及び貯蔵品	1,757	1,742
その他	1,487	820
貸倒引当金	△4	△1
流動資産合計	30,400	29,434
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,249	14,292
減価償却累計額及び減損損失累計額	△9,037	△9,109
建物及び構築物（純額）	5,212	5,182
機械及び装置	38,444	38,911
減価償却累計額及び減損損失累計額	△35,835	△36,090
機械及び装置（純額）	2,609	2,821
車両運搬具及び工具器具備品	2,803	2,827
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,575	△2,593
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	228	233
土地	3,514	3,518
建設仮勘定	3,925	3,606
有形固定資産合計	15,490	15,362
無形固定資産	152	143
投資その他の資産		
投資有価証券	5,904	5,948
長期貸付金	38	28
繰延税金資産	297	367
その他	1,647	1,628
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	7,851	7,937
固定資産合計	23,495	23,443
資産合計	53,895	52,878

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,124	3,056
短期借入金	7,843	7,827
未払法人税等	177	95
賞与引当金	111	191
役員賞与引当金	13	13
その他	1,919	1,600
流動負債合計	13,189	12,783
固定負債		
長期借入金	7,095	7,080
繰延税金負債	915	1,035
退職給付に係る負債	1,256	1,237
役員退職慰労引当金	80	80
環境対策引当金	22	22
資産除去債務	73	73
その他	450	447
固定負債合計	9,895	9,976
負債合計	23,085	22,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,402	7,402
資本剰余金	7,800	7,800
利益剰余金	10,226	9,570
自己株式	△1,825	△1,826
株主資本合計	23,604	22,947
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,904	1,961
為替換算調整勘定	16	△14
退職給付に係る調整累計額	△87	△101
その他の包括利益累計額合計	1,833	1,845
非支配株主持分	5,372	5,324
純資産合計	30,810	30,117
負債純資産合計	53,895	52,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	5,586	5,727
売上原価	4,598	4,909
売上総利益	987	818
販売費及び一般管理費	826	879
営業利益又は営業損失(△)	160	△61
営業外収益		
受取賃貸料	5	5
為替差益	-	26
その他	17	52
営業外収益合計	23	84
営業外費用		
支払利息	21	21
為替差損	21	-
持分法による投資損失	0	47
その他	9	4
営業外費用合計	52	73
経常利益又は経常損失(△)	131	△50
特別利益		
受取補償金	180	-
特別利益合計	180	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	311	△50
法人税、住民税及び事業税	109	38
法人税等調整額	41	14
法人税等合計	151	52
四半期純利益又は四半期純損失(△)	160	△102
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	10
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	159	△112

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	160	△102
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△629	59
為替換算調整勘定	△0	51
退職給付に係る調整額	2	△13
その他の包括利益合計	△627	98
四半期包括利益	△467	△4
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△470	△37
非支配株主に係る四半期包括利益	3	33

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,079	291	214	5,586	—	5,586
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	—	91	101	△101	—
計	5,089	291	306	5,687	△101	5,586
セグメント利益又はセグメント損失(△)	73	△4	34	104	56	160

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と同額であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,279	217	229	5,727	—	5,727
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	124	125	△125	—
計	5,280	217	353	5,852	△125	5,727
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△164	△7	53	△118	56	△61

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と同額であります。